

わくわく にしこおり

令和 3年 12月 3日
富田林市立錦郡幼稚園
園長室 NO. 50

もちつき ～お餅を搗(つ)くことを通し、いろいろなことを知りました！～

前日の30日には、そら組がお米を研ぎました。説明を受けて慎重にお米を扱うそら組をはな組とほし組が興味をもって見ている姿が印象的でした。当日は、早くから園務員の北川さんと協力してかまどに火を起し準備をして順に蒸しあげていきました。蒸している様子を見ながら先生たちからいろいろな説明を受けておりました。昔は火を焚いて料理をしたり、お風呂を沸かしたりといったことを知り、驚いている園児もいました。たき火やかまどの火を見たことのない園児がほとんどで燃える火を和やかな目で見ておりました。蒸しあがったせいろのもち米は一臼(ひとつす)だけ石臼ときねで搗きました。子どもたちは少しずつですが、小ぶりのきねを持って体験しました。その石臼で搗いたお餅は、各自で伸び具合を確かめたりしながら、餅花をつくり用意した枝に付けました。職員で餅つき器で搗いて小餅にしたものをみんなでいただきました。砂糖醤油ときな粉をまぶしたものを食べました。とても美味しいとのことで、10個ほど食べていた園児もいました。次の日には取り置いたお餅をバーベキュー用の網で焼いた香ばしいお餅をいただき、また違った食感に笑みがこぼれていました。私は伝統的なことがらや行事にふれることの多い幼稚園の活動に心温まる思いがしています。食べることを通して、美味しく食べるに至るいろいろな過程を大切に、共有していきたいと思います。正座してかまどを見守る園児 可愛いなあ… そら組から一人ずつ杵を振り上げ頑張りました。大きく振り上げている園児を掲載！



ほし組のみんなには小振りの杵でも重い！ みんなで食べるお餅は、機械で搗いて先生たちで小餅にしてもらいました。手際良い！



みんな、こんなに伸び～！と喜んでいきます。紅白の餅花を枝に付けています。綺麗です。2種類のお餅「どっちも美味しい～っ！」



ビオトープコンクール ～日本生態系協会賞をいただきました！～

隔年ごとに行われる日本生態系協会主催の「全国学校・園庭ビオトープコンクール」の結果が届きました。「日本生態系協会賞」をいただきました。全国の幼稚園・保育園、こども園、小中学校、高校・大学が出展するというコンクールです。最上位5団体には選ばれませんが、その次の賞となる「協会賞」をいただき光栄に思っております。幼稚園・保育園、こども園の「協会賞」は全国で29園です。大阪府では、2園ということです。(もう1園は市内の青葉丘幼稚園です。)

昨年度からの園児たちの思いの詰まった「ビオトープの拡充、活用方法」などが評価されたと思います。また、生態系協会本部から本園のビオトープの様子が、幼稚園や保育園の先生方の研修資料で「ビオトープの紹介」を目的に使われるということです。来年の2月22日には、広島大学、早稲田大学、東北文教大学の先生方が、本園に視察、交流に来られる予定です。さらに活用方法を意見交換、検討し、「思考力の芽生え」を視点に進めてまいりたいと思っています。

